

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社  
 コード番号 2488 URL <http://www.jtp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森 和昭  
 (氏名) 高島 隆明

TEL 03-6408-2488

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,260	△12.2	40	—	37	—	11	—
24年3月期第2四半期	2,573	0.6	△49	—	△63	—	△46	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 12百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △47百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	230.91	—
24年3月期第2四半期	△870.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,912	1,745	59.9
24年3月期	3,082	1,833	59.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,745百万円 24年3月期 1,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	△9.2	160	106.2	155	128.4	95	—	1,832.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	60,156 株	24年3月期	60,156 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	8,301 株	24年3月期	8,301 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	51,855 株	24年3月期2Q	53,037 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日）における我が国経済は、東日本大震災からの復興に伴う復旧整備業務で、国内のインフラ関連事業の請負企業などでは特別需要の動きがみられるものの、欧州に端を発する世界的な景気不安定状況の中で、日本が海外から高く評価されている証左である「円高基調」を、国も企業も受け入れられずにいるのが現状です。

21世紀という新しい時代に突入して、既に10分の1という時間が過ぎ去ろうとしている今こそ、国家もまた日本を背負っていると自負されている企業も、「世界を再びリードするのだ」という気概に溢れたグランドデザインやその実行役を担う勇気を世界に向けて示す時であるはずですが、しかしながら、この様な不安定で低迷する経済環境の中での革新的な変化は、今すぐには期待できないというのが現実です。当社グループは、急速にグローバル化が進み、変化することに顕著な業界にあって、世界の誰もが参加し競い合うクラウド社会で活躍するための事業変革にこれまで大きな投資を行い、準備を進めて参りました。また、この目指すべき事業の競合会社は、国内ではなく海外企業をその対象として捉え、体質の強化を図りつつ「日本のサービス品質を、アジア価格で」をモットーに事業の収益改善に取り組みました。当社は、創立25周年を機に、新たな自社ブランドの世界共通のITスキルアセスメントとして“GAIT”（Global Assessment of Information Technology）の提供を開始すると同時に当社の創業時からの取引先であったサン・マイクロシステムズ社の創業者であるスコット・マクネリ氏が開発した“Wayin”（ネット利用者の投票を集計し、民意がたちどころにわかる交流サイト（SNS））をアジア初として日本での展開を開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,260,285千円（前年同期比12.2%減）となり、利益面につきましては、前連結会計年度に実施した本社移転等の固定経費削減施策等により40,774千円の営業利益（前年同期は49,099千円の営業損失）となりました。また、営業外費用として為替差損2,069千円の計上により37,254千円の経常利益（前年同期は63,732千円の経常損失）、税金等調整前四半期純利益は34,105千円（前年同期は73,693千円の税金等調整前四半期純損失）、四半期純利益は11,974千円（前年同期は46,144千円の四半期純損失）となり58,119千円の利益改善となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

## ①ソフトウェア・ソリューション事業

教育部門においては、原価の圧縮（賃借料や外注費等）を図り、利益改善に努めました。ソフトウェア開発部門においては、取引先の会社更生法の適用申請等により、受託業務の縮小懸念もありましたが、概ね堅調に推移いたしました。また、ヘルプデスク・コールセンタ部門においては、赤字が続いていた受託業務の契約解除により売上は減少いたしました。収益は改善いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は894,510千円（前年同期比20.9%減）、セグメント利益は82,561千円（前年同期は67,285千円のセグメント損失）となりました。

## ②フィールド・ソリューション事業

コンピュータ・システムサポート部門において、既存のコンピュータ保守業務の減少を補うべく、営業サポート業務やITベンダのシステム増設等に伴うネットワーク工事の受託を推進いたしました。IT応用システム・サポート部門においては、医療機器や分析装置の保守、設置業務に加え、前連結会計年度より放射線検査機器の取り扱いを開始しましたが、既存の保守業務の減少を補うまでには至りませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は985,347千円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益は173,707千円（前年同期比22.4%減）となりました。

## ③ハードウェア・ソリューション事業

インテグレーション・サポート部門においては、顧客からの値引き要求受入れにより利益が減少いたしました。リペアセンタ部門については、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は379,235千円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は44,631円（前年同期比16.9%減）となりました。

## ④その他

国内子会社であったデータ・エントリー・ソリューション株式会社の清算（平成24年3月）により、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,191千円（前年同期比81.1%減）、セグメント損失は3,814千円（前年同期は7,635千円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比し170,241千円減少し2,912,556千円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比し180,398千円減少し2,209,466千円となりました。これは主に、売上高の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比し10,156千円増加し703,090千円となりました。これは主に、繰延税金資産の増加によるものであります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比し82,340千円減少し1,167,008千円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比し69,263千円減少し608,837千円となりました。これは主に、買掛金の減少によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末と比し13,077千円減少し558,171千円となりました。これは主に、長期未払金の減少によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比し87,900千円減少し1,745,547千円となりました。これは主に、配当金の支払による利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、同日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行っております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、フィールド・ソリューション事業に属するITPセールス株式会社の全株式を売却したため、連結の範囲から除外しております。この結果、当社グループは、当社、子会社4社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,197,273	1,095,481
受取手形及び売掛金	924,566	764,733
商品	53,686	125,508
仕掛品	2,472	4,206
原材料及び貯蔵品	8,113	10,873
その他	216,037	218,826
貸倒引当金	△12,286	△10,164
流動資産合計	2,389,864	2,209,466
固定資産		
有形固定資産	158,362	153,221
無形固定資産	150,522	136,464
投資その他の資産		
その他	417,480	446,834
貸倒引当金	△33,431	△33,431
投資その他の資産合計	384,049	413,403
固定資産合計	692,933	703,090
資産合計	3,082,797	2,912,556
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	146,287	53,561
未払法人税等	15,040	16,954
賞与引当金	160,140	172,090
役員賞与引当金	5,257	9,000
その他	351,375	357,230
流動負債合計	678,100	608,837
固定負債		
退職給付引当金	483,908	491,751
その他	87,339	66,419
固定負債合計	571,248	558,171
負債合計	1,249,349	1,167,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	795,475	795,475
資本剰余金	647,175	647,175
利益剰余金	822,489	733,812
自己株式	△422,008	△422,008
株主資本合計	1,843,130	1,754,454
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,682	△8,906
その他の包括利益累計額合計	△9,682	△8,906
純資産合計	1,833,448	1,745,547
負債純資産合計	3,082,797	2,912,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	2,573,459	2,260,285
売上原価	2,338,701	1,927,807
売上総利益	234,757	332,477
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	62,591	70,319
賞与引当金繰入額	8,012	13,319
役員賞与引当金繰入額	6,000	9,000
退職給付引当金繰入額	1,293	1,986
その他	205,959	197,078
販売費及び一般管理費合計	283,857	291,703
営業利益又は営業損失(△)	△49,099	40,774
営業外収益		
受取利息	147	69
受取手数料	33	32
未払配当金除斥益	578	—
その他	31	42
営業外収益合計	790	144
営業外費用		
支払利息	1,100	810
為替差損	14,087	2,069
その他	235	784
営業外費用合計	15,423	3,664
経常利益又は経常損失(△)	△63,732	37,254
特別利益		
債務消滅益	3,578	—
特別利益合計	3,578	—
特別損失		
子会社株式売却損	—	1,450
事務所移転費用	13,540	1,698
特別損失合計	13,540	3,148
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△73,693	34,105
法人税、住民税及び事業税	5,912	10,578
法人税等調整額	△33,460	11,553
法人税等合計	△27,548	22,131
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△46,144	11,974
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,144	11,974

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△46,144	11,974
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,132	776
その他の包括利益合計	△1,132	776
四半期包括利益	△47,277	12,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47,277	12,750
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△73,693	34,105
減価償却費	38,486	45,277
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△2,121
本社移転費用引当金の増減額(△は減少)	△100,732	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	42,011	11,950
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,459	7,843
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	6,000	3,743
子会社株式売却損益(△は益)	—	1,450
債務消滅益	△3,578	—
受取利息	△147	△69
支払利息	1,100	810
売上債権の増減額(△は増加)	85,266	159,848
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,670	△76,316
仕入債務の増減額(△は減少)	21,639	△92,725
前受金の増減額(△は減少)	△14,797	16,049
その他	△13,769	△21,256
小計	2,561	88,590
利息の受取額	147	68
利息の支払額	△1,100	△810
法人税等の支払額	△11,828	△9,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,220	78,306
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△72,949	△15,558
差入保証金の差入による支出	△3,863	△13,432
差入保証金の回収による収入	240,352	351
貸付けによる支出	—	△25,150
貸付金の回収による収入	961	1,421
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	956
その他	△2,300	△6,223
投資活動によるキャッシュ・フロー	162,200	△57,636
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△40,068	—
配当金の支払額	△53,407	△104,136
長期未払金の返済による支出	△15,462	△16,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,937	△120,937
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,239	171
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	31,802	△100,094
現金及び現金同等物の期首残高	1,325,029	1,195,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,356,832	1,095,311

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。